



本能まちづくりニュース

第13号 平成14年8月1日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: honnoh@kimono-kyoto.org

URL <http://www.kimono-kyoto.org/honnoh/index.htm>

三條油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

本能学区地区計画、都市計画審議会で承認!



京都市都市計画審議会 平成14年7月23日

今春、本能自治連合会が京都市に策定を要望いたしました「本能学区地区計画の方針」が原案縦覧(地域の人が見られる期間 5/15~5/26、意見を出せる期間 5/15~6/5)、法定縦覧(誰でも見られる期間 6/12~6/26)を終え、7/23 京都市都市計画審議会で諮られて承認されました。今後、必要な手続きを経て、8月中に決定される予定です。

地区計画とは?

既に回覧版で、お知らせしていましたが、そもそも、「地区計画」とは、地域の特性を生かした生活環境を守るために、地域住民自身が考え、合意して定めるものです。行政側が一律に決めるのではなく、地域住民の方から意向を発信し、行政に住民の意見を反映させることのできる、住民参加型のまちづくりです。

本能学区では近年、共同住宅が建ち、新しく住まわれる方が増えて、まちなみ・人口構成が変わってきました。現在、都市計画法に基づき、本能学区は商業その他の業務の利便を増進するため「商業地域」と指定されていますが、その規定だけでは、良好な居住環境が守れなくなってきており、昨年4月、本能自治連合会で、地区計画策定の取組みを行なうことを決めました。

これに基づき、まちづくり委員会は、先に実施した「マンション実態調査」や「まちづくりについてのアンケート調査」の結果を踏まえ、昨秋より、様々な討議を重ねて、原案を作成。本年3月、これが本能自治連合会としての「地区計画の方針(案)」と承認され、更に学区民の皆様にアンケート調査によってお諮りしましたところ、ご回答いただいた方の79.2%の賛同を得ました。

今回の「地区計画の方針」は、土地の利用や建築行為に強制力は持ちませんが、学区のまちづくりの指針として、住民のまちづくりの思いを具体的に文章に現したものであり、本能学区民が共通認識することにより、地域にふさわしいまちづくりの取組みを進めていくことができるとともに、本能学区に新たに進出してくる開発業者等にこれを提示することによって、本能地域の特性への配慮を促す契機とすることができます。

本能学区地区計画の特徴とは?

3月の地区計画アンケート調査の際には、皆様にご協力いただき、ありがとうございました。既に

ご承知と存じますが、一部を再度ご紹介しましょう。

「区域の整備・開発及び保全に関する方針」のうち「地区計画の目標」

当地区は、本能寺の旧跡をはじめ、数多くの歴史的・文化的な資産を有する地区である。また、昔から今日に至るまで京染に関わる職人が多く住む地域であり、職のつながりを基礎にした住民間の交流が豊かで、活発な地域コミュニティが形成され、職と住とが共存する市街地を形成している。

当地区では、「住みたいまち、育てたいまち、働きたいまち本能」の実現を目指したまちづくりを進めており、今後ともこのまちづくりの進展を図る。このため、職と住が共存し、地域の資源である「染め」の文化・技術を現代の魅力として活かしながら、住民間のおつきあいを大切にした交流豊かなまちの形成を図り、子どもから高齢者まで多世代が暮らしやすい開かれた地域社会の実現を目指すことを、将来にわたる地区計画の目標として定める。

「建築物等の整備の方針」

落ち着いたある居住環境の保全のため、相隣関係や景観に配慮した建築物とするとともに、地域社会と調和のとれた用途の建築物とする。

共同住宅においては、居住者の地域活動への参加・協力や、共同住宅の適正な管理を促進するとともに、地域での住民間のコミュニケーションに配慮した建物配置・建物構造や交流空間の確保に努める。

本能学区の「地区計画」の特徴は、学区に住まわれる方々のおつきあいを大切にし、まちづくりに生かしていこうと謳っているところです。たとえば、小さな子どもを友達の家遊びに行かせる時、親同士が見知っていなければ安心できません。あるいは、マンションに大規模補修や建て替えが必要になったとき、居住者の合意は勿論のこと、近隣住民との話し合いも大切です。このような人間関係や話し合いの土壌を培うのが、日常的な住民間のコミュニケーションであると考えられますから、住民のおつきあいを重んじるのです。

地区計画の方針にそった建築物とは？

現在、まちづくり委員会では、本能学区民のまちづくりへの思いをより詳しく紹介するための冊子「本能学区のしおり」(仮称)作成に取り組んでいます。

建築物に関連する項目作成の準備として、去る6月9日、具体的にどのような建物が町並みにふさわしいか、具体像を探りに、まちなみ探訪会を行いました。

四条から五条までの烏丸と堀川の間、四条から御池までの、烏丸と寺町の間地域を、それぞれ2グループにわかれて、地図・チェックシート・デジカメを持ち、気付いたことを記録しながら、2時間かけて見て歩きました。「しおり」は、将来新築・改築される場合の望ましいありかた等を解説するものですから、今新しく建ったマンションや、戸建て住宅、あるいは修復・改築したり手入れして現代に対応できるように維持してある古い建物等に注目しました。約2時間、少々暑かったです。撮影・散策日和。町並みに配慮した工夫がなされた建物や、如何なものかと感じられる建物など、いろいろ見つけることができ、帰着後、4グループがそれぞれ撮ってきた写真と気付いたことを発表をしました。



まちなみ探訪会 (六角通東洞院東入)
写真を撮り、チェックシートに記入

《まちなみに配慮した建物》については、「京都らしいしつらえや植栽による潤いのある建物や、マ



報告会（本能会議室）
写真を見ながら、意見交換

ンションでは圧迫感・威圧感の極力少ないものや生活感（人の動き）が感じられ親近感のあるものが望ましい。」《まちなみの調和》については、「古い町家を改修したり、町家風に新築した建物が最近増えてきた」・「建てられた当初は奇抜で、違和感があるようでも、本当に良い建物なら、風雪に耐え建物としての風格が具わり馴染んでくる。（三条通のまちなみのように）」・「古い建物と新しい建物の間に中間仕様の建物があったり、古いまちなみに新しいけれども古い感覚を取り入れた建物があったりして、連続・調和したまちなみとして見える所があった。相隣関係への気遣いが感じられた。」等の意見が出ました。これらの学習や意見交換を重ねて、しおりづくりを行なっていく予定です。

「本ものの推進会議」発足

このたび、京都市伝統産業課が、春分の日を「伝統産業の日」と制定し、京都の伝統芸能・伝統工芸品の実演・展示・販売等の事業を行なうことに決め、まちづくり委員会は、協力を要請されました。



第1回本もの会議 平成14年6月26日

平成15年の期日は3月21日～23日となります。

まちづくり委員会が、皆様のご協力を得て、昨年・一昨年の2回、11月の「歩いて暮らせるまちづくり～まちなかを歩く日～」で開催してきた「公開工房」が京都府・京都市に評価されたわけで、従来は業界団体に任されていた行事を、京都市の補助を受けて、地域ぐるみで行なうことになりました。室町通り界隈では、商店所蔵の美術品を展示して、通り全体を「室町美術館」にする、西陣では西陣織関連の事業を行なう等、学区間でも連携して「地域回遊」型の催しとなるそうです。

まちづくり委員会では、これを、本能がものづくりの土地柄であることを広く発信する機会と捉え、「歩いて暮らせるまちづくり」と同様に積極的に取り組んでいきたいと考えます。そこで、



京町家工房 併設された喫茶店と伝統工芸品の販売店

「公開工房」にご協力いただいている方々とともに「本もの（本能ものづくり）推進会議」を結成し、月1回会議を持ち、「歩いて暮らせるまちづくり」と「伝統産業の日」の企画を練っています。この二つの事業の拠点は、四條西洞院東入の四條京町家におく予定ですが、二つを異なった趣向で行い、参加者に、単なる観光ではなく、本当の「本もの」——産地偽装・ブランド



四條京町家 京都市伝統産業会館とし
平成14年4月新装オープン

詐称のない「本能ブランド」——を見たり、体験してもらうためにどうしたらよいかを一緒に考えています。皆様、アイデアがありましたら、中村（TEL 昼 221-4158・夜 212-5674）・杉下（TEL 221-0613）まで、どうぞお寄せください。次回「本ものの推進会議」は、9月25日開催予定です。

本能まちづくり委員会の
次回開催は

平成14年9月2日(月)午後7時から
場所 本能会議室 当日飛び入り歓迎!!

2002 本能夏まつり へのお誘い

実行委員長 杉下浩教

祇園祭りの山鉾巡行も終り、京都らしい蒸し暑い夏がやってきました。

去る7月7日のNHK大河ドラマ「利家とまつ」、7月24日「その時歴史が動いた」で現在の情景が放映されましたように、元本能小学校校舎は消え去り、跡地はすっかり整地され、永らく学区民の集いの場であった懐かしの校庭はなくなりました。今年の本能夏まつりは、場所を替えて開催します。

開催日時 8月17日(土) 雨天のときは翌18日(日)に順延
午後4時から9時
場所 本能公園と小川通(三条から六角の間、歩行者天国)



ゲームコーナー 4時から6時 ゲーム券で遊べます

ボーリングゲーム・スマートボール・コイン落とし・当てもの など

飲食コーナー 5時から7時 金券で買えます

たこ焼・焼そば・イカ焼き・焼き鳥・おでん・みたらし団子・カキ氷・
ジュースなどの屋台が出ます ビールは現金販売です

イベントコーナー

本能公園にやぐらを組んで、盆踊りをします
最後に、豪華景品があたるお楽しみ抽選会があります

ゲーム券、金券は各町内会長を通じて販売しています。
回覧板をご覧ください

楽しい夏まつりになるように、スタッフ一同準備に励んでおりますが、学区の皆様方のご理解・ご協力もお願いいたします。ご家族、ご近所お誘いあわせてお越し下さい。新しく本能学区にお住まいになられた方も是非お出でになり、お顔馴染を増やして下さい。

本能まちづくり委員会のホームページが立ちあがりました
掲示板などを通じて交流をはかりたいと思います、ぜひご参加ください
ホームページのアドレスは、

<http://www.kimono-kyoto.org/honnoh/index.htm>

メールアドレスは、honnnoh@kimono-kyoto.org

編集後記 ○街路でお年寄りや女性が被害にあう、ひったくり事件が多発しています。「人通りの少ない道は利用しない」「危険な場所では、カバンは抱えるように」「カバンは、車道側と反対の手に持つ」など注意してください。被害にあったときは、すぐに110番へ。OM
○最近「和風」が流行っているようですが、「本もの」の「和」と人の「和」の中で暮らしていきたいです。NK